

第3 今後の展望

平成30年度においても、「せせらぎスクール」に申込みのあった学校や団体等に水生生物調査に必要な資材を提供するとともに、せせらぎスクール指導者養成講座を開催し、水生生物調査の指導者養成に取り組んだ。「せせらぎスクール」に参加した小学校児童の感想を見ると、河川に数多く生息する水生生物の存在や河川の水質の状況（上流と下流の水質汚染の違い）から、人間生活による水環境の汚染が自然に大きな影響を与えていることを学んだだけでなく、水生生物調査を通して豊かな自然の美しさを知る機会ともなり、水環境保全への意識が変わったことが伺える感想が多く寄せられた。また、せせらぎスクール指導者養成講座の参加者からは、講師による講義に加えて河川での水生生物採集を行うことにより、より水生生物調査への理解を深めることができたという感想が寄せられた。特に、せせらぎスクール指導者養成講座初級編2コースで実施した顕微鏡を用いての水生生物の観察は、水生生物の特徴を理解する貴重な経験となった。

この福島県の美しい水環境を大切に守り、後世に繋げていくためには県民一人一人が水環境に対する意識を高め、その保全の取組を実践していかなければならない。水環境に対する意識を高めるためには、水について知り、学び、体験することが重要である。そのきっかけの一つとなるのが「せせらぎスクール」であり、この活動を県内の多くの学校、団体等に広げていく必要がある。また、「せせらぎスクール」の活動を担い、参加者への理解を深めるための指導者（リーダー）を養成していくことも必要である。

このため、福島県環境創造センターでは、引き続き「せせらぎスクール」を推進していくための取組を進めていく。具体的には、必要な資材の提供、指導者養成講座を開催するなど、活動の支援体制を整備するとともに、これまでの取組内容や参加者からの感想をまとめた、事業報告書やせせらぎスクールうつくしま川の体験マップを作成し、県内学校や（水環境保全団体に限らず様々な地域活動を実践している団体等も含めた）各種団体に共有することにより、「せせらぎスクール」の普及・啓発を図る。また、調査研究事業とも連携しながら、学校や団体が主体的で持続的に「せせらぎスクール」の活動を実践できる可能性を検討する。これら取組を着実に進め、県内の水環境保全活動への参加者数増加に繋げていく。